

第35回 新座・地域ケアの集い  
介護保険改正後の  
「新しい住まい、サービス付き高齢者住宅の開設に挑む」

日時：2013年1月18日（金）18:30～20:30  
会場：ふるさと新座館内、野火止公民館  
講師：村城 正 氏（奈良県協同福祉会理事長 / 奈良県・あすなら苑等運営）

雪の東北・介護を語るツアー

大人の休日倶楽部使用の為、50歳以上の方限定企画です。

日程：2013年1月19日（土）～20日（日）  
交流先：青森・八戸大学篠崎さん、福島・郡山 阿部純さん  
同行者：山本満知子・藤原るか  
費用：休日倶楽部 14,000円（4日間有効なので前後自由行動）  
宿 2,500円（素泊まり）東京第1イン八戸アネックス泊  
食事代・飲み代は各自

「世界のヘルパーさんと出会う旅」  
パート12のご案内

2013年11月に約8日～10日の日程で『フランスのヘルパーさんと出会う旅』の準備に入ります。500円貯金をスタートさせて下さい。また、年休などの利用も合わせて職場での調整等、「行きたい!」と声を上げてみましょう!研修扱いでの参加等、方法を検討してみませんか?「映画」等を観ながら、現地の介護事情を学んでゆく企画を立てますので、こちらへもお気軽にご参加下さい。

日程：2013年2月9日（土）  
内容：「マルタのやさしい刺繍」（新春向けのハッピーな映画で～す）  
参加費：500円（その後交流会は自己負担）



共に介護を学びあい励まし合いネットワーク

〒142-0063 東京都品川区荏原1-24-23 角田アパート1F Tel・Fax : 03-3787-3117  
PCアドレス : ruka@ga2.so-net.ne.jp 編集責任者 : 藤原るか

CLA たより 第24号  
13/01/08

発行：共に介護を学びあい・励まし合いネットワーク



「CLA（クラ）」はラテン語で憂い、辛さ、気遣い、共感などと云った意味で、英語のキアラーやケアの語源です。





川又竹男・厚生労働省老健局振興課長：  
(2011.10.17) 議事録 (再掲載)

第 82 回社会保障審議会介護給付費分科

生活援助の時間区分等の見直しについて(中略)今、30分から60分、それから60分以上という区分けでござい  
ますが、これを45分を境に45分未満、45分以上という形で見直しはどうかということでございます。(中略)お  
おむね1つあるいは2種類であれば45分未満で、それ以上であれば45分以上という区分けで区分ができるんではない  
かという提案でございます。(中略)なお、このデータについては、3,080の配付をしておりまして、回収率92%で、  
保険者、事業所、それから要介護度ごとにバランスよく調査をしておりますので、回収が92%の回収率でやっていま  
すので、かなり一般的な状況を示しているデータではないかと考えております。

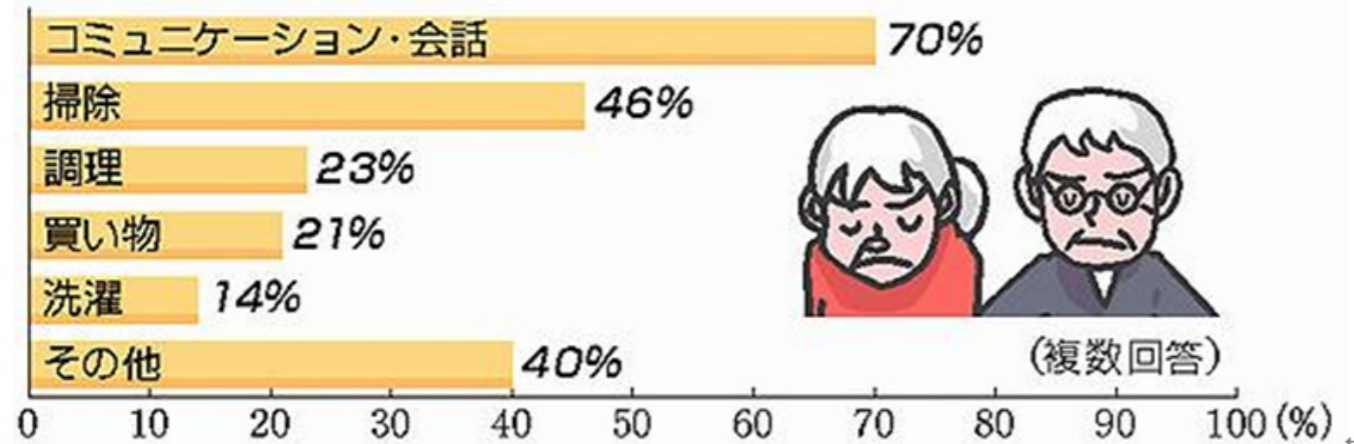
これらの資料から明らかになっている事は、「生活援助」を介護保険から外そうとする政府の意図です。こ  
の間の様々な現場実態の調査グラフも合わせてご紹介します。

実態調査の結果は対人援助にコミュニケーションを認めていない制度になってきているという事実です。今  
後も在宅での「人・社会(介護)環境を大切に作る労働」という当たり前の事を考え合わせる機会を作ってゆき  
たいと思っています。

調査にあたった団体や介護の専門性、介護環境等についてケアマネジャー、当事者・介護者等を含めた取組  
にしてアクションを起こしたいと考えています。

案内が届きましたら、お力をお貸し下さい。

## 生活援助の時間短縮で削られたサービスは？ (中央社保協調査から)



### 2012年12月26日 しんぶん赤旗より転載

短縮でどのようなサービスが削られたかの問い(複数回答)に、「コミュニケーション・会話」が最多で70%。次いで掃除46%、調理23%、買い物21%、洗濯14%でした。利用者への影響は「情緒不安定」が21%、「(ホームヘルパーとの)信頼関係悪化」15%、「状態悪化」8%など、重度化につながる内容があげられています。

調査した中央社保協介護障害部会責任者の前沢淑子さんは、「ヘルパーによる会話や声かけは、高齢者の体調をうかがうとともに、心の安定を保つうえで欠かせません。その時間が削られたことで、情緒不安定になったり状態悪化を招いたりしています。掃除や調理が削られているのも重大です。高齢者が安心して地域で暮らせるよう、時間短縮は一日も早く撤回し、改定前に戻すよう求めます」と話します。

調査は9月から10月の間。今年8月を前年同月と比較して東京、大阪、愛知など11都府県889訪問介護事業所(利用者5万1030人)が回答を寄せました。

報酬改定の影響で事業所の収入は45%が減少。自由記載欄には「廃業したい」などの記述がみられました。ホームヘルパーの平均給与は「減少」が29%でした。

(記事 URL <http://goo.gl/B9bDw>)

## ② 第2分科会 「認知症ケアあれこれ、気づいたことをポイントに悩み解消」



報告者井上さんと進行内藤さんの名コンビ・撮影者は森さん

### 参加者の感想

- ・ 認知症についてのケア経験や、情報を共有できて良かった。
- ・ 認知症のケアについて、いろいろと事例のはなしを聞いて良かったです。私は介護職ではありませんが、母も認知症なので、参考になりました。
- ・ 歌あり、映画ありと参加しやすいです。第2分科会はみなさんが自分の立場からの正直な気持ちを話し合いできたので良かったです。
- ・ 現場の方のお話を聞いて良かったです。困った事について良い意見を頂きとても参考になりました。アルツハイマーも初期のうちには楽しいおばあちゃんに済むのかもしれないと思った。思い認知症の人にも若い頃元気な頃があったのだと改めて考えた。

### 『毎日がアルツハイマー』の感想

- ・ 勉強になりました。アルツハイマーでもいろいろなタイプがあるとわかった。
- ・ 映画の様に良い親子関係だと認知症の進みが遅いのだと思った。
- ・ 映画良かったです。アルツハイマーの人を尊重し、95%を生かすケアをしてゆきたいと思いました。
- ・ 初めてのさんかでした。映像が多いのは眠くならないし、面白かったです。
- ・ 分科会は少数で話し合いが出来(良い雰囲気の中で)有意義だったと思います。
- ・ テレビで紹介されてから観たいと思っていた映画です。こういう機会を作ってくれてありがとうございます。
- ・ ある先生の言葉の一つ「アルツハイマーは瞬間、瞬間には正常」という言葉を聞き認識を改めました。

レジメの資料一部を転載します。

#### ● 認知症の人への、「介護の十ヶ条」

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| ① ゆとりをもつ         | ⑥ ゆっくりと歩調を合わせる |
| ② しからない          | ⑦ 過去(思い出)は大切に  |
| ③ すべてを受け入れる      | ⑧ 急激に環境を変えない   |
| ④ 何を求めているのか耳を傾ける | ⑨ 自尊心を大切に      |
| ⑤ できることを認めてあげる   | ⑩ 介護者は無理しない    |

#### ● 介護者のための、

- か 観察する
- き 記録する
- く 工夫する
- け 計画する
- こ 行動する

#### ● ボケないための、

- か 感動する
- き 緊張する
- く くつろぐ
- け 決断する
- こ 好奇心をもつ

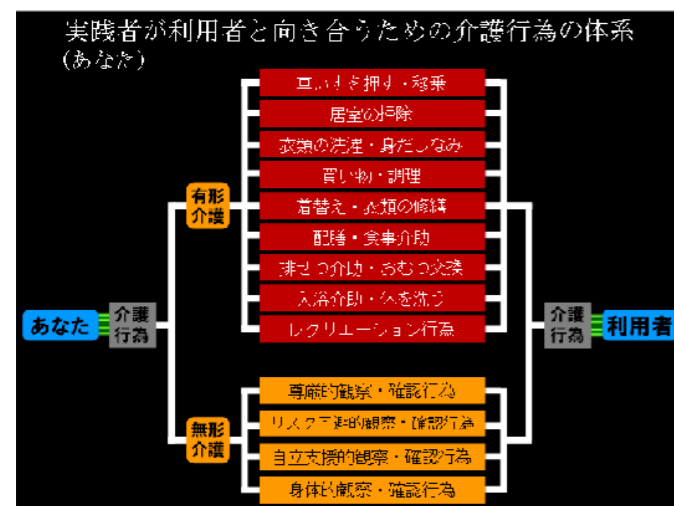
### ③ 第3分科会 「立ち止まって考えよう 介護保険って何？」

話題提供者 桜井和代さん（要介護者の暮らしを考える会代表世話人・介護労働研究会）

#### 参加者の感想

- ・ オープニングも楽しく、第3分科会の先生のお話もとても楽しくお勉強させて頂きました。ありがとうございました。また、お話聞きたいです。
- ・ 第3分科会に参加して普段、関心がありながらもついつい知らうとしなかった所、今日のお話はとてもありがたかった。もっと知っていなければと改めて思っています。
- ・ お疲れ様でした。介護保険ってまだ先の事かと思っておりましたが、本日勉強させて頂きありがとうございました。

### ④ 第4分科会 「あなたが実践する介護行為の付加価値とは？」 ～ DRIP（雫）・静かなる実践～



行動的な実践(無形介護)とは何か…

尊厳的 観察・確認	リスク回避的 観察・確認	自立支援的 観察・確認	身体的 観察・確認
ignity	risk	ndependence	hysical

しずく  
**雫**  
のような介護実践

決して派手な音を立てない静かな実践

63枚のパワーポイントで、介護職の介護実践を熱い視点で解説して頂きました。紙面の都合で2点のみ掲載いたします。(プログラム・資料ご希望の方は実費にて発送いたしますので事務局にご連絡下さい。)

#### 参加者の感想

- ・ ありがとうございました。本人が主人公という原点を再確認しました。
- ・ 本日は介護職の原点に戻れた気持ちになり本当に参加できて良かったです。ありがとうございました。
- ・ 大変面白く、半日が早く過ぎました。コミュニケーションごとの設問を作って、平均値を出したりした場面は設問を沢山設けて欲しいですね。
- ・ 毎日のサービス業務に追われ時間に追われ、ミスによる反省、利用者対応に自信を無くしそうになったり、家族との関係にも難しく感じこの職を続ける自信を無くしそうになる自分に、この取組企画で頑張る勇気を貰えまし普段得られない情報を知ること、人とのコミュニケーションが頑張る力と変わりました。

#### 実行委員会からのお礼

「毎日がアルツハイマー」上映にあたりまして、埼玉・新座の地域ケアの皆さん他から多額のカンパを頂きました。ネットでの発信や資料をお寄せいただきました。(7面のニュース等) つどいは多くの方々の支えで成功致しました。ご協力、ご支援ありがとうございました。お礼として掲載させて頂きます。

## EFB 調査 第2弾

前号では調査の中間報告で審議されている審議会の様子をお伝えしましたが、今号ではその後公表された調査結果についての表を掲載します。まず、掃除・洗濯・調理等どの項目をとっても15分で終了しているという調査結果はないという事実。厚生労働省やマスコミはこういった結果についての説明責任をどのように考えているのでしょうか？

また、在宅の場合は同一の住環境や地域状況ではないという前提も無視している上に、3か月前の援助内容について「ヘルパーの記憶に頼った時間の割り出し」というあいまいなデータでの下記の調査発表です。

#### 2-2. 生活援助の時間区分を45分にする根拠になった調査(2012年3月公表)

対象と方法	本調査のデータは厚生労働省老健局老人保健課が収集した				
サービス提供時間	1. 想定される仮説	特定の環境におかれている場合、特定のサービスが提供される時間や回数が増加する			
	2. 基本的な集計	要介護度、所得段階、居住環境、世帯状況と平均提供時間の間に明確な傾向は確認できなかった			
生活援助の行為ごとの平均サービス提供時間					
		要支援1~2		要介護1~5	
		平均提供時間	回答数	平均提供時間	回答数
	サービス準備等	6.42分	N=478	5.97分	N=695
	掃除	40.39分	N=717	27.02分	N=1002
	洗濯	17.21分	N=126	16.59分	N=550
	ベッドメイク	9.40分	N=99	7.85分	N=394
	衣類の整理・被服の補修	12.90分	N=42	10.63分	N=212
	一般的な調理、配下膳	34.37分	N=245	32.22分	N=754
	買い物・薬の受け取り	33.50分	N=312	28.67分	N=497
	その他	12.83分	N=166	10.83分	N=284

株式会社EFP「訪問サービスにおける提供体制に関する調査研究事業報告書(2012年3月 2011年度厚生労働省老人保健健康増進等事業)